

(別添3)

【南風原町教育委員会】

校務DX計画

校務DXを推進していくために以下の3つの観点から取り組んでいる。今後、継続して校務DX化に取り組んでいく。

1. 働き方改革

まず、採点業務の負担を軽減するためにデジタル採点システムを導入し、業務の効率化を図ることで、教職員がより多くの時間を生徒指導に充てられるようにしている。

また、公印の使用を一部の文書で省略することで、行政手続きの迅速化を進め、教職員の負担を軽減している。

他にも、校務支援システムの導入により、学校業務の支援を強化し、事務作業の効率を高めることで、教職員が本来の教育活動に集中できる環境を整えている。さらに、MicrosoftやGoogle等のクラウドツールを活用したペーパーレス化を推進し、文書のデジタル化を進めることで、業務の効率性を高めている。

2. データ連携

保護者との連絡ツールを活用し、欠席連絡をデジタル化することで、保護者が迅速かつ簡単に連絡できるシステムを導入している。さらに、同じツールを使用して保護者への配布物もデジタル化し、電子的に配信することで、配布物の紛失や未受領のリスクを軽減し、保護者が必要な情報にいつでもアクセスできる環境を整備している。これにより、印刷や配布などのコスト削減も期待できる。

また、校務や学習支援においては、学習支援ソフトを活用し、資料の共有や連絡事項の確認を効率化している。学習支援ソフトを通じて、教職員間および生徒間の情報が円滑に共有され、双方向のデータ連携が強化されている。

学校内で扱うデータは、共有ドライブに集約されており、職員間でのデータ連携が円滑に行われている。これにより、データの一元管理が可能となり、必要な情報を迅速に共有・参照できる体制が整っている。このようなデータ連携の強化により、学校運営の効率化を図るとともに、保護者との円滑な情報共有に努める。

3. クラウド化

調査物やアンケートの作成・提出に関しては、GoogleClassroom および Google フォームを活用し、効率的な提出物管理と自動集計を実現する。会議や研修資料については、Google ドライブを用いて共有・管理を行い、リアルタイムでの編集やアクセスが可能となるため、資料作成の効率化が図られる。さらに、会議や面談のスケジュール管理には Google カレンダーを利用し、参加者に自動通知が送られることで、予定の調整や時間管理が容易になる。これらのクラウドツールを活用することで、校務の効率化と生産性の向上が期待される。

また、校務支援システムについては、沖縄県の共同調達によるクラウド型校務支援システムへの移行を予定している。クラウド化により、校務の効率化や情報共有の充実を図り、教職員の業務負担軽減につなげていく。